

救急・防災活動について



きっかけは、阪神・淡路大震災だった

救急・防災委員会 委員長

石原 哲 全日病常任理事

医療法人社団誠和会 白鬚橋病院 院長

はじめに

ご挨拶でも書きましたように、15年間に亘って救急・防災委員会の仕事を勤めさせていただきました。

きっかけは阪神・淡路大震災。現地で支援活動をする中で、多くの全日病の方々との出会いがあり、前委員長の新垣常任理事、古畑理事、さらには被災された医療法人康雄会西病院の西院長たちとの結びつきが生まれました。

活動の場は最も被害が大きかったといわれる長田区でした。自然の持つ破壊力のすさまじさに驚き、身内を失った悲しみに耐える人々には掛ける言葉もありませんでした。

当時の日本には災害医療体制が全く整備されていなかったといえます。被災された方々は、個々の判断や偶然に任せ、好運を祈るしかなかったのです。

私たちは大規模災害時の医療体制はどうあるべきかを夢中で議論しました。

1年後、この仲間が中心となり、神戸において「地域防災緊急医療ネットワーク」を立ち上げることができました。

そんなころに新垣先生から「全日病救急委員会（当時）に来て、防災部門の立ち上げを手伝ってほしいか」との要請があり、参加させていただくことになりました。

そんなわけで、本報告は最初の仕事だった防災から始めさせていただきます。

「防災」

(1) 防災フォーラムの開催

毎年1回、AMDA、全日本病院協会、日本医師会の合同主催で「地域防災緊急医療ネットワークフォーラム」を開催してきました。

当初は、阪神・淡路大震災と同規模の地震に大都市が襲われたときの被害の最小化をテーマに選びました。防災および、災害時医療に関わる専門家が集まって様々なシミュレーションを行ない、多くの成果をあげました。

その後、自然災害から集団災害に至る広範囲の災害を検証し、医療界のみならず、多くの職種の方々にご参加いただく会に成長しております。

この活動は第9回を期に全日本病院協会の単独主催となり、本年3月には第13回防災フォーラムが開催されました。

(2) 大規模防災訓練への参加から災害派遣へ

各地の防災訓練も、阪神・淡路大震災を期に、通り一遍の訓練から形を大きく変化させて参りました。東京都医師会 木村佑介理事のはからいで平成8年9月1日、東京都の総合防災訓練にボランティアによる参加が初めて認められました。足立区荒川の河川敷に全日病会員病院所属の病院救急車が集結、その数30台でありました。

このとき初めて組織的なトリアージ訓練が行なわれました。また、救急車が搬送に列を為すスタイルは今も続いています。もともと、現在は現場で行なう「STARTトリアー



防災活動年表

平成7年

- 1月17日 阪神・淡路大震災
- 1月28日 阪神・淡路大震災後の視察

平成8年

- 1月22日 第1回白鬚橋病院防災訓練
全日病としての初の病院総合防災訓練
- 2月16日 第1回地域防災民間緊急医療ネットワークフォーラム
- 9月1日 東京都総合防災訓練：全日病・AMDA 合同訓練
- 11月15日 中小病院 災害対策マニュアル 出版

平成9年

- 7月16日 墨田区災害時応急給水訓練
- 9月1日 茨城県（取手）・東京都（立川）総合防災訓練

平成10年

- 1月22日 全日病総合防災訓練：白鬚橋病院
夜間停電時の防災訓練
- 1月29日 第2回地域防災民間緊急医療ネットワークフォーラム
- 2月14～15日 野外病院セミナー白馬98
春季 共同防災避難総合訓練
- 8月22日 全日病総合防災訓練：北海道手稲深仁会病院 防災訓練
- 30日 平成10年度茨城県・北茨城市総合防災訓練（AMDA・全日病
防災訓練）
- 9月1日 東京都（渋谷）総合防災訓練・静岡県（掛川）総合防災訓練
- 13日 田島病院（東京都）防災訓練
- 10月8～9日 平成10年度日本赤十字社
関東・山・新支部災害看護訓練（山梨県・新潟県）
- 11月3日 発災型 墨田区防災訓

平成11年

- 1月19日 第3回地域防災民間緊急医療ネットワークフォーラム
- 27日 全日病 病院防災訓練について つくばセントラル病院 講演
- 2月3日 全日病 第44回防衛衛生学会 特別講演 九段会館
「民間における災害医療の現状と将来の展望」
- 2月11日 第4回日本集団災害医療研究会（金沢）一般演題 口演
「民間病院的防災対策-ライフライン途絶時の対応訓練-」
シンポジウム「災害拠点病院連絡協議会の意義とその問題点-
私的病院の立場から-」
- 19日 これからの福祉と医療を实践する会 特別講演
研究社大会議場「民間病院災害医療対策」
- 20日 第46回日本救急医学会関東地方会（横浜）一般演題
「民間病院におけるトリアージ」
「全日本病院協会として防災対策の現状」
- 3月29日 NBC 特殊災害対策防災訓練（白鬚橋病院）
- 6月5～6日 MeRU 訓練（茨城）
- 27日 全日本総合防災訓練：茨城県つくばセントラル病院
大規模災害防災訓練
- 7月8日 東京都及び七都市総合防災訓練（河川搬送訓練）
- 8月29日 茨城県牛久市総合防災訓練
- 9月1日 東京都総合防災訓練及び第20回七都都市合同防災訓練
静岡県・富士市総合防災訓練
- 21日 台湾大震災
- 10月2～3日 東海村原子力事故視察 10km 周辺の健康管理
- 11月16日 第4回地域防災民間緊急医療ネットワークフォーラム
- 20日 全日病総合防災訓練：板橋中央総合病院 地下鉄事故における
集団災害
- 23日 全日病防災訓練：白鬚橋病院
コンピューター西暦2000年問題を想定した防災訓練
- 26日 コンピューター西暦2000年問題：病院防災訓練
（地域連携後方搬送訓練）日本医大：白鬚橋病院

平成12年

- 5月27日 佐々総合病院防災訓練
- 31日 北海道有珠山噴火 非常災害
全日病会員病院調査（全日病本部・北海道支部）
- 6月19～21日 リンケスト/スウェーデン 特別講演
- 9月2日 茨城県・ひたちなか市総合防災訓練
- 3日 東京都総合防災訓練
- 22日 愛知県名古屋北部水害
全日病会員病院調査（全日病本部・愛知県支部）
- 30日 全日本病院協会医療看護班受け入れ訓練（ヘリ搬送訓練）
日本医大千葉北総病院総合防災訓練
- 10月6～8日 鳥取県西部地震 全日病会員病院調査（広島県支部）

平成13年

- 2月5日 第5回地域防災民間緊急医療ネットワークフォーラム
「地域防災への取り組み」
- 2月20日 病院防災ガイドブック 出版
災害発生時における病院防災対策のあり方
- 3月17日 戸田中央総合病院防災訓練
- 31日（重篤感染症蔓延疑い災害）に対する初期医療対応訓練
- 4月12日 ドクターヘリ実働訓練
- 8月20日 総合防災訓練説明会及びトリアージ研修会 講演
模擬患者に対する治療上の留意事項
- 21日 総合防災訓練説明会及びトリアージ研修会 講演
模擬患者に対する治療上の留意事項
- 25日 茨城県・神栖町総合防災訓練（鹿島港深芝公共3埠頭）



「ジ」、救護所で行なわれる2次トリアージ「生理学的評価・解剖学的評価」など一定のルールが定められ、より現実的な訓練に変貌しております。私も医療救護班統括に指名され訓練を行っております。訓練を積み重ねた結果は、その後たびたび起きた地震災害において、被災地での医療救護活動を円滑に行なうことに役立つものと推察しております。

平成16年8月、災害派遣チーム「東京DMAT」が誕生しました。災害医療活動の訓練を受けた医療チームとして、東京から全国に普及しております。全日病では安藤副会長と私が第1回の東京DMAT隊員となっております。そして、同年10月に起きた「新潟中越地震」では、安藤副会長とともに小千谷市の医療救護活動を急性期から慢性期まで1ヶ月に亘って続け、後に新潟県小千谷市医師会から感謝状をいただきました。全日本病院協会としても急性期から「心のケア」チームなど多くの会員病院チームの参加をいただきました。

(3) 災害発生時支援体制

毎年地震に限らず多様な災害が発生し、会員病院が被災しています。当委員会としては、災害現場の近隣会員病院などにも依頼して可能な範囲で詳しく罹災状況を伝えてもらい、支援体制を協議します。現在はまだできることが限られていますが、今後続けてゆく中で、委員会活動の重要な柱になるものと予測しています。



(4) 病院防災訓練の実施と支援体制

災害発生時に病院が機能不全を起こさないように、普段から備えておくべき「もの」や「こと」がたくさんあります。

そのうち最も大切なことが「病院防災訓練」だと思います。「地震だ！」と驚いた人が、次に何をすればよいかわからなくてパニック状態に陥ってしまうケース。でも、日頃の訓練で経験を積んでおけば、速やかに冷静さを取り戻せるのです。

当委員会では会員病院向けに、効果的な「病院防災訓練」のご相談に応じております。さらに長年培ったノウハウを活用した実施指導などの支援も行なっております。

救急

(1) 二次救急の現状

二次救急は今、救急医療に特化して頑張っている病院と、その気力が衰えそうになっている病院に分化しつつあるような気がしてなりません。あるいは、地域での役割分担が変わってきているから、そう見えるのかもしれない。

都市部というか、大都市を中心とした多様な地域は民間が支えている救急医療がカバーしています。一方、地方都市に一般的に見られるのは、三次救急が真中であってそこに全てを集約している、言ってみればER型。それぞれの地域によって別な対応が必要になるわけですが、本来、「二次救急とはこうあるべきだ」という決まった形があるわけではありませんから、地域の中での立ち位置を十分考慮した救急医療の提供を心がけていくほかないでしょう。

救急医療については、これまでずっと「救急病院の質向上」ということで動いてきました。ところが今、「質向上」以前に、「病院存続」の問題になっています。これは懸念すべきことと言わねばなりません。

二次救急病院は地域救急の受け皿であって、言うならば地場産業と捉えるべきで、存続できなくなれば地域医療のバランスが崩れてしまう。

地域によって抱える問題は様々で、いろいろな地域ごとにその地域を取り囲む救急の問題が起きています。しかし、共通することはやはり「質向上」です。

救急に特化した医療の提供がより大事になってきたということですか。

(2) 最近の取り組み

標榜科も、「救急科」としてよくなりました。民間病院であっても、「救急科」を活用しながら地域連携の中に入れていかなくてはならないでしょう。それには、全国MC（メディカルコントロール）協議会

がある。MC協議会は救命救急センターだけのものではなく、我々二次救急も密接に関与していきたくところであり、病院団体としても、地区ごとに深く関与し、行政とのパイプを担うべきでしょう。

今後、「救急認定放射線技師」や「救急薬剤師」などの資格制度を確立しようとする動きがあります。既に「救急看護師」もあるし、現在の救急救命士の病院における活躍ぶりを見ても、いろいろな職種の方がスキルアップを図るようになるでしょう。

もはや、医師が一人で頑張る必要はなくなっているのです。チームの力を合理的に活用したシステム作りをすべきで、そのためにも、医師だけでなく多職種の人たちのための研修の場を作っていくべきだと考えています。

質の向上については、JATEC (Japan Advanced Trauma Evaluation and Care)・JPTEC (Japan Prehospital Trauma Evaluation and Care) と連携をとっていますので、興味があるという先生は全日病の当委員会を通じてご参加いただきたいと思っております。

AEDの普及も救急・防災委員会の仕事として行なってきました。会員病院のニーズをまとめることで、5年間に約500台を特別価格で購入することができました。

(3) 今後の抱負

全日病の会員のうち民間病院は9割を超え、その半分以上の病院が二次救急に参画しています。救急というのは地域医療に貢献するとても大事な、やりがいのある仕事ですが、その一方で、参画の意思を示したときから常に「質向上」を問われることになる厳しい世界です。この厳しさを先取りして「質向上」に合う方策を企画提案して行くことこそが当委員会の役割であると考え、委員のお力を借りながら重責を果たすべく立ち向かおうと思っております。

全日病：病院 総合防災訓練

平成7年度（東京都）

1月22日 第1回白鬚橋病院防災訓練
全日病としての初の病院総合防災訓練

平成9年度（東京都）

10月22日 白鬚橋病院 夜間停電時の防災訓練

平成10年度（北海道・東京）

8月22日 北海道手稲漢仁会病院 防災訓練
9月13日 田島病院（東京都）防災訓練

平成11年度（茨城県）

6月27日 茨城県つくばセントラル病院 大規模災害防災訓練

11月20日 板橋中央総合病院 地下鉄事故における集団災害

平成12年度（千葉県）

6月30日 全日本病院協会医療救護班受け入れ訓練（ヘリ搬送訓練）
日本医大千葉北総病院総合防災訓練

平成13年度（埼玉県）

3月17日 戸田中央総合病院防災訓練

平成14年度（長野県）

9月14日 総合防災訓練 長野県 相澤病院 総合防災訓練

平成15年度（東京都）

3月29日 白鬚橋病院・ベレル向島合同災害医療訓練
「地震に伴う放射能汚染対策訓練基本面の体制固めを目的として」

平成16年度（東京都）

新潟中越地震 支援

平成17年度（東京都）

7月2日 白鬚橋病院総合防災訓練

平成18年度（兵庫県）

5月26日 赤穂中央病院 防災訓練

平成19年度（東京都）

3月29日 ライフライン寸断設定訓練（白鬚橋病院）

平成20年度（大分県）

1月20日 天心堂へつぎ病院 総合防災訓練

平成21年度（徳島県）

2月28日 医療法人芳越会 ホウエツ病院 総合防災訓練



- 25日 第5回緊急被災医療フォーラム 講演
「私的医療機関における訓練」
- 9月1日 東京都防災訓練
20日 平成13年度トリアージ研修会(東京都衛生局) 講師
トリアージの実施方法等
29日 千葉北総病院防災訓練
11月7日 テロ災害対応訓練(東京消防庁)
- 平成14年**
- 2月15日 第7方面支部 消防団幹部研修会 講義
災害時の医療体制(東京都の災害時医療体制を中心に)
3月1日 3都医師会航空機対策協議会 研修会 講演
「東京都ビッグレスキュー・東京都災害と成田空港の役割」
29日 第6回地域防災民間緊急医療ネットワークフォーラム
30日 平成13年度 白鬚橋病院 総合防災訓練
東京都災害時後方支援拠点病院
「NBC災害に対する初期医療対応訓練」
7月30日 「トリアージ」(災害時医療救護活動) 講習会
講師 荒川区・足立区・葛飾区・すみだ医師会
8月17日 第4回地域医療支援病院セミナー(松本) 講演
「災害医療と病院」
31日 平成14年度茨城県・日立市総合防災訓練
9月1日 練馬区・東京都合同総合防災訓練
9月10日 平成14年度トリアージ研修会 講演
9月14日 全日病:総合防災訓練 長野県 相澤病院 総合防災訓練
10月10日 第30回日本救急医学会総会(札幌) 「災害医学3-一般演題」
- 平成15年**
- 1月18日 練馬区 防災講演会
「大地震のときに出来るだけ多くの命を救うには」
29日 全日病防災訓練 白鬚橋病院・ベレール向島合同災害医療訓練
「地震に伴う放射能汚染対策訓練基本面での体制固めを目的として」
3月31日 第7回地域防災民間緊急医療ネットワークフォーラム
4月19日 草加市立病院:地域医療支援病院セミナー「災害医療と病院」
6月14日 白鬚橋病院防災訓練:停電に関わる病院対策対応訓練
(東京電力の電力不足による停電対策)
7月11日 警視庁災害警備総合訓練 江戸川河川敷
25日 東京都 平成15年度 病院等における防災訓練説明会(講師)
「トリアージの実施方法について」
8月30日 平成15年度 茨城県・阿見町総合防災訓練
9月1日 東京都・日野市合同総合防災訓練
10月18日 八王子消化器病院 トリアージ研修会
11月28日 慈恵青戸病院 防災訓練
- 平成16年**
- 1月13日 平成15年 IT 防災訓練 (JV-MAT)
2月10日 方面救助救急演習(地域病院団体)
14日 第9回日本集団災害医学会総会(座長)「NBC災害・テロリズム」
3月15日 民間病院における集団災害対策 出版
3月20日 白鬚橋病院:避難方法の手段についての防災訓練
27日 第8回地域防災民間緊急医療ネットワークフォーラム
4月23日 東京 DMAT 研修会(講演) BTコース「Basic Training Course」
5月16日 向島・本所消防団合同総合水防演習
6月26日 第46回 全日本病院学会 座長「災害救急における連携」
8月14日 徳島医師会 災害医療/全日病のあゆみ
9月1日 8都県市同総合防災訓練 「広域医療搬送実働訓練」
10月13日 第66回 日本臨床外科学会総会 座長創傷の新しい管理法
21日 NTT 東日本関東病院 トリアージ講習会
23~25日 新潟中越地震医療支援
27日 埼玉協同病院 「トリアージ訓練・講演」
30~31日 新潟中越地震医療支援
11月8~9日 新潟中越地震医療支援
19~20日 新潟中越地震医療支援
- 平成17年**
- 1月28日 日本医師会 救急災害医療対策委員会 講演
新潟中越地震に伴う医療救護活動報告
2月27日 中越地震災害医療検証シンポジウム 講演
3月3~4日 第10回日本集団災害医学会
4日 新潟中越地震に48時間の対応(発表)
13日 第57回東京都委託柔道整復師講習会(講演)
4月1日 東京青年医師会 早朝勉強会
「いま、東京の救急・災害時医療は…」
5月10~11日 東京 DMAT 研修会における講師「東京 DMAT」活動の基礎知識
7月2日 白鬚橋病院総合防災訓練
13日 平成17年度病院等における防災訓練の実施及び防災訓練説明
会「災害時の病院の対応のあり方について」(東京都健康局)
22日 宮崎県都城市医師会病院(防災関係の講演)
8月16日 岩手南部地震
9月1日 平成17年度 東京都・町田市合同総合防災訓練に係る医療救
護活動訓練
7日 癌研有明病院にて「災害時における病院の役割」(講演)
28日 深川防火女性部防災講演会トリアージ講習会
「トリアージの実施方法等について」
11月1日 グループ交信訓練
8日 日本 DMAT における自衛隊航空機を用いた広域医療搬送研修
航空自衛隊入間基地
12日 大規模災害医療シンポジウム(社団法人 中巨摩医師会)
「東京都における災害医療対策について」

- 12月2日 東京大学医科学研究所附属病院トリアージ講習会
「トリアージ実施方法等について」
17日 全日本病院協会 災害対応規則 施行
JR 福知山線脱線事故、宮城県沖地震、台風14号(被災会員病
院調査及び、見舞金制度に関する規則)

平成18年

- 3月2日 NTT 東日本関東病院 「災害想定演習」 講演
3月11日 第9回地域防災民間緊急医療ネットワークフォーラム
5月10日 坂戸鶴ヶ島医師会立看護専門学校
「救急災害における医療活動について」 講演
20日 日本大学医学部同窓会 神奈川県相模支部 災害時医療について
26日 赤穂中央病院 防災訓練 「災害時の医療救護」 講演
7月11日 平成18年警視庁災害警備総合訓練への東京 DMAT 参加(江戸
川河川敷)
8月31日 平成18年度東京都・足立区合同総合防災訓練夜間訓練
訓練の統一テーマ「総合連携」
9月1日 平成18年度東京都・足立区合同総合防災訓練 講演
9月8日 トリアージ講習会(いであ株)
「トリアージ実施方法について」 講演
24日 平成18年度墨田区防災訓練(東京 DMAT)
12月9日 災害医療研修会(岐阜医師会)
「東京都医師会における災害医療体制について」 講演

平成19年

- 1月20日 第12回日本集団災害医学会 総会 一般演題 「災害計画」
2月17日 新型インフルエンザ対策訓練(白鬚橋病院)
3月4日 第44回 薬剤師会地区研修会
地域における救急医療体制と災害時の医療救急活動
10日 第10回地域防災緊急医療ネットワークフォーラム
25日 能登半島地震
5月17日 第10回日本臨床救急医学会 総会 災害医療
災害医療と臨床救急との役割「災害医療大系」編纂の過程を踏
まえて
7月16日 新潟中越沖地震
9月1日 東京都総合防災訓練 昭島市
10月17~ 第35回日本救急医学会 総会
18日 能登半島地震の初動対応被災地病院と医師会支援のあり方
大規模災害時における災害医療ガイドライン作成へ向けて
10月30日 地域における災害時の要援者対策を考える 東京消防庁
11月18日 平成19年度城北ブロック 学術集会 災害時医療

平成20年

- 1月10日 第13回日本集団災害医学会総会 シンポジウム 座長
「災害医療におけるメディカルコントロール」
11日 災害急性期における日本医師会対応の検討
3月15日 第11回地域防災緊急医療ネットワークフォーラム
24日 東京リハビリテーション病院 講演
災害時救急医療とトリアージの実践について
29日 ライフライン寸断設定訓練(白鬚橋病院)
6月14日 岩手宮城内陸地震
7月24日 岩手北部地震
8月27日 京都病院協会 トリアージの実施方法等について
31日 平成20年度東京都・中央区・江東区合同総合防災訓練
10月24日 東京北社会保険病院 トリアージ研修会
11月23日 第20回 全日本病院学会 東京大会「救急II」東京都における
二次救急医療システムの維持に向けて

平成21年

- 2月4日 トリアージ講習会(青戸病院)
「トリアージ実施方法等について」 講演
13日 第14回 日本集団災害医学会総会・学術集会
地震災害時の医療対応における医師会関与の現状と課題 講演
3月5日 平成20年度災害関係医療機関 災害因上訓練
14日 第12回地域防災緊急医療ネットワークフォーラム
19・20日 天心堂へつぎ病院 全日病救急防災訓練
5月22日 水防訓練(東京 DMAT 隊員の派遣)
23日 いずみ記念病院 防災訓練「新型インフルエンザ対応訓練」
7月9日 第36回相模医学会 相模原市医師会講演会「災害医療」
8月12日 佐用中央病院 水害
30日 平成21年度東京都世田谷区調布市合同総合防災訓練
9月12日 東京2009 アジアユースパラゲームズ
27日 平成21年度墨田区総合防災訓練
11月12日 天皇家下御即位二十年をお祝する国民祭典
22日 第51回 全日本病院学会・鹿児島大会
救急防災「東京都救急医療体制の充実に向けた新たな体制」

平成22年

- 1月6日 東京消防庁 救出救助訓練 東京 DMAT 白鬚橋チーム
2月18日 特定非営利活動法人災害福祉広域支援ネットワーク・サンダー
バード 「災害の基礎理解」サポートセンター運営コーディネ
ーター養成講座
28日 全日病総合防災訓練:医療法人芳越会 ホウエイ病院
3月6日 第一消防方面 DMAT 訓練「多数傷病者発生時における救助救
急訓練」
13日 第13回地域防災緊急医療ネットワークフォーラム
26日 東京 DMAT 第二方面本部 屋外訓練
8月19日 文京区・小石川医師会 トリアージの実施方法等について
29日 平成22年度 東京都・文京区合同総合防災訓練
10月10日 第52回 全日本病院学会 兵庫 救急防災委員会企画
医療復興～阪神淡路大震災後15年をふり返って
災害医療はどのように進歩したか～